

2013 年度 第 8 回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」受賞者発表！
現役リケジョが提案！リケジョ増加のカギとなる「リケジョミクス 3 本の矢」発表
—女性研究者が 30%に増えることによる経済効果は約 2,800 億円！—

<報道資料>
2013 年 9 月 11 日

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ(本社:パリ)の日本法人である日本ロレアル株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:クラウス・ファスベンダー)は、本日 2013 年 9 月 11 日(水)、フランス大使公邸にて、**2013 年度 第 8 回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」**の受賞者発表および授賞式を実施いたしました。本年は、新たな試みとして、日本の理系女子への関心を高めるべく、「**リケジョミクス 3 本の矢**」と題して現役リケジョ(理系女子)の声をもとに作成した施策案と日本の“リケジョ”が増えることによる経済効果を発表しました。

① 「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」:

日本の若手女性科学者が、国内の教育・研究機関で研究活動を継続できるよう奨励することを目的として、2005 年 11 月、日本ロレアルが日本ユネスコ国内委員会との協力のもと創設しました。対象者は、物質科学、生命科学の分野で、博士後期課程に在籍または、博士後期課程に進学する予定の女性科学者で、原則、物質科学、生命科学から それぞれ 2 名(計 4 名)決定し、賞状と奨学金 100 万円が贈られます。

当奨励賞は、1998年よりロレアルグループ(本社:パリ)とユネスコ本部が毎年、世界規模で展開している「ロレアルーユネスコ女性科学賞」の国内賞に位置づけられます。2013年「ロレアルーユネスコ女性科学賞」においては、日本を代表する科学者黒田 玲子(東京理科大学総合研究機構教授、東京大学名誉教授)が受賞しました。分子構造の左右性の違いが自然界に広く現れる左右性(キラリティー)現象に重要であることを明らかにし、アルツハイマーなどの神経変性疾患研究など幅広い応用研究にもつなげる多大な貢献を成し遂げました。

「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」の受賞者は下記のとおりです。

■物質科学分野

小原 睦代(おはら むつよ) (26 歳) 名古屋工業大学大学院 工学研究科 未来材料創成工学専攻
ナノ・ライフ変換科学分野 中村研究室

高山あかり(たかやま あかり) (27 歳) 東北大学原子分子材料科学高等研究機構 (2013 年 4 月～)
(東北大学大学院 理学研究科 物理学専攻 光電子固体物性研究室 卒)

■生命科学分野

野殿 英恵(のどの はなえ) (31 歳) 慶應義塾大学 理工学部 (2013 年 4 月～)
(慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科 発生・生殖生物学研究室 卒)

松嶋 藻乃(まつしま あやの) (27 歳) 北海道大学大学院 医学研究科 特任助教 (2013 年 4 月～)
(北海道大学 医学部 卒)

② 現役リケジョが提案「リケジョミクス 3 本の矢」とその経済効果:

主要先進国において日本は女性研究者の割合が 13.6%と最下位となっている状況下で、国の政策では、女性研究者の割合を 30%にあげることを目標とし、様々な取り組みを推進しています。これに対して、“研究室の環境改善”や“ロールモデルが少ない”など現役のリケジョの声をもとに「**リケジョミクス 3 本の矢**」を発表しました。

さらに、関西大学大学院 宮本勝浩教授の協力のもと、「**女性研究者が全研究者の 30%まで増加することにより、約 2,800 億円の経済効果がある**」という指標を算出しました。現状問題をアベノミクスにかけた施策案と数値で示すことで、女性科学者を増やすことの重要性や後進育成の意義を訴求していきます。

2013年度 第8回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」受賞者

【物質科学分野】



おほら むつよ
小原 睦代
(岡山県岡山市出身 26歳)

- ・所属大学 : 名古屋工業大学大学院 工学研究科
未来材料創成工学専攻 ナノ・ライフ変換科学分野 中村研究室
- ・研究分野 : 有機化学、不斉合成
- ・研究内容 : 酵素を凌駕する触媒創製—新触媒を用いて医薬品分子の右左を作り分ける
- ・社会と研究の接点: 医農薬学、化学工業の発展に貢献
- ・あなたにとって一言で「科学」とは: 挑戦
- ・リケジョ(理系女子)が増えるとどのような利点があると思いますか? :

未だ男性主流の社会である科学の分野において、理系女子が増えることでこれまでとは異なる視点から物事を捉えることが可能になると思います。女性らしさを活かし、繊細なところまで追求していくことにより、日本の科学の質の向上にも繋がります。また、理系女子の社会進出により、男女問わず研究の道を選ぶことができるようになり、子どもたちにとって将来の選択肢を増やすことが可能となります。



たかやま
高山 あかり
(福島県南相馬市出身 27歳)

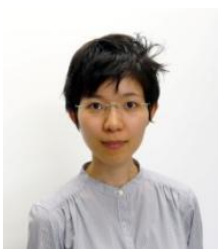
- ・出身大学 : 東北大学大学院 理学研究科 物理学専攻 光電子固体物性研究室 卒
 - ・現 所属 : 2013年4月～ 東北大学原子分子材料科学高等研究機構
(日本学術振興会 特別研究員(PD))
 - ・研究分野 : 光電子固体物性、表面、スピントロニクス
 - ・研究内容 : 世界最高分解能測定から見えた電子スピンの不思議な振る舞い
 - ・社会と研究の接点: パソコンやモバイル端末の高速化・省エネルギー化を実現する「スピントロニクス素子」開発の基礎となる電子スピンの状態を解明することに貢献
 - ・あなたにとって一言で「科学」とは: 最上級の暇つぶし
 - ・今後、日本に女性科学者が増えるために、どのようなサポート、施策が必要だと思いますか? :
- 進路を決める高校生の時期までに、科学者という仕事があるということが伝わっていないのではないかと思います。研究者という職種は閉じた世界にあるため、どんなことをするのかわからないままでは、進路の選択肢にもなり得ません。まずは研究者の魅力について説明する場や機会が必要だと思います。

【生命科学分野】



のどの はなえ
野殿 英恵
(神奈川県川崎市出身 31歳)

- ・出身大学 : 慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科 発生・生殖生物学研究室
 - ・現 所属 : 2013年4月～ 慶應義塾大学 理工学部
 - ・研究分野 : 発生・生殖生物学
 - ・研究内容 : プラナリアの生殖様式転換と寿命に関する研究
 - ・社会と研究の接点: 生殖様式の転換や生殖様式と寿命の関係という生命の基本原則の理解に貢献
 - ・あなたにとって一言で「科学」とは: 楽しみ
 - ・リケジョ(理系女子)が増えるとどのような利点があると思いますか? :
- 理系の学問や研究活動を通じて、事実を正しく捉え論理的に考える力を身につけた女性が、女性ならではの長所を活かして新たな視点や手法で科学技術のみならず様々な分野の課題にアプローチできるのが利点だと思います。



まつしま あやの
松嶋 藻乃
(北海道札幌市出身 27歳)

- ・出身大学 : 北海道大学 医学部
 - ・現 所属 : 2013年4月～ 北海道大学大学院 医学研究科 特任助教
 - ・研究分野 : システム神経科学、神経生理学
 - ・研究内容 : 前頭連合野による注意の制御
 - ・社会と研究の接点: 精神・神経疾患の新たな診断法・治療法につながる脳内情報処理機構の解明に貢献
 - ・あなたにとって一言で「科学」とは: 自分の人生を賭けてあまりあるもの
 - ・先進国で最も女性科学者の比率が少ないといわれる日本の現状をどう思いますか? :
- 女性を特別扱いにするのではなく、男性と同等のチャンスを与えること、また、女性自身の意識を変えること、社会的な理由で阻まれることを失くすことで、日本社会において互角にたたかえる女性が自然に輩出されることを望みます。

リケジョ（理系女子）の活躍を支援する「リケジョミクス 3本の矢」を発表！ ～リケジョ増加による経済波及効果は約2,800億円！？～

アベノミクスの成長戦略のひとつとして「女性の活躍促進」が提唱され、女性の働きやすい環境整理が期待される今、日本における“リケジョ”を増やす意義を広く発信すべく「リケジョミクス 3本の矢」を発表し、森まさこ 女性活力・内閣府特命担当大臣に提出しました。

「リケジョミクス 3本の矢」は、国の政策として掲げられている理系の女性研究者の割合が研究者全体の30%に達成するために、現役リケジョの声を反映した施策を提案しています。また、関西大学 宮本勝浩教授の協力のもと、リケジョが30%に増加することで日本にもたらす経済効果が約2,800億円となる算出結果も示しています。

日本ロレアルは「リケジョミクス 3本の矢」をはじめ、今後も様々な啓発活動を通して日本の理系女子の活躍の場がより一層広がるよう、長期的視野に立って支援していきます。

「リケジョミクス 3本の矢」 ～経済効果約2,800億円！～

1 全国の教育機関の理系各学部**に必ず1名以上の女性教授を登用！**

アベノミクスの成長戦略では、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%以上とする目標を達成すべく、上場企業に対して「役員に一人は女性を登用していただきたい」と呼びかけています。教育機関の理系学部では、指導的な立場の女性の割合の低さは特に顕著に表れており、このことが女性科学者のロールモデルが少ないという大きな課題につながっています。多様性の実現に向けて、全国の教育機関の理系各学部**に1名以上の女性教授を登用することが重要だと考えます。**

＜施策案＞ 理系各学部における女性教員の割合提示の義務化

2 女性に優しい研究室作り！

研究者は夜遅くまで研究をしていることが多いため、また男性の割合が多い環境にあるため、整理整頓にまで手が回らないことが多く見受けられます。女性も気持ちよく研究に集中できるよう、化粧室の整備をはじめ、キレイで居心地のよい研究室作りを進めることが必要だと考えます。

＜施策案＞ 「女性に優しい研究室大賞」の制定

3 大学・大学院の学生生活や研究環境を知る機会を創出！

進路を決める高校生の頃までに、理系の良さや科学者の仕事について知る機会が少ないのが現状です。リケジョを対象にした調査においても、後進の育成のためには「理系女子の大学・大学院生活や研究生活を知る機会を作る」と回答した人が67.2%^(※)という結果も出ています。早くから科学者という仕事の魅力を次世代に発信していくことが重要だと考えます。

※日本ロレアル株式会社 理系女子学生の満足度に関する意識調査より

＜施策案＞ 大学・企業へのリケジョ参観日の促進

「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」選考委員会

小林 昭子 日本大学 文理学部化学科教授、東京大学名誉教授（分子物性化学） 2009年「ロレアル-ユネスコ女性科学賞」受賞	永田 和宏 京都産業大学 総合生命科学部教授、京都大学名誉教授（細胞生物学）
川合 真紀 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任教授（表面化学） 理化学研究所理事	御子柴 克彦 理化学研究所 脳科学総合研究センター 発生神経生物研究チームシニアチームリーダー 東京大学名誉教授（神経生物学）
北原 和夫 東京理科大学大学院 科学教育研究科教授（統計学） 東京工業大学名誉教授、国際基督教大学名誉教授	黒木 登志夫 日本学術振興会 学術システム研究センター相談役（細胞生物学） 東京大学名誉教授
山本 嘉則 東北大学 原子分子材料科学高等研究機構 特別研究顧問（有機化学） 東北大学名誉教授	中西 友子 東京大学大学院 農学生命科学研究科教授（放射線植物生理学）
	垣生 園子 順天堂大学 医学部免疫学客員教授（免疫学） 東海大学名誉教授

ロレアルグループについて(www.loreal.com)

ロレアルグループは、1909年にパリで化学者によって設立され、世界 130 カ国・地域で事業を展開し、72,600 人の従業員を擁する世界最大の化粧品会社です。「ランコム」「シュウ ウェムラ」「キールズ」「イヴ・サンローラン」「ロレアル パリ」「メイベリン ニューヨーク」など 28 ブランドをグローバル規模で展開しています。創立当初から女性研究者を積極的に登用しており、現在約 3,800 名の研究者のうち 55%を女性が占めています。

主要な社会貢献活動として、1998 年より、ユネスコとの協力のもと「ロレアル-ユネスコ女性科学賞」を通じて、100 カ国以上から 1,729 名の女性科学者を支援しています。

日本ロレアルについて (www.nihon-loreal.jp/corp/)

1963 年から事業を開始し、1996 年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立され、今年で創業 50 周年となります。2,300 人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、上記のブランドを含め 18 のブランドを取り扱っています。30 年以上前から、アジアで初の研究開発拠点を日本に置き、現在、日本ロレアルリサーチ & イノベーションセンター(川崎市・溝の口)として、日本をはじめ、アジアの研究開発の中心的な役割を担っています。220 名以上の研究者を有し、うち女性研究者は 62%を占めています。また、2012 年より、研究所のトップに日本人女性が就任しています。

社会貢献活動においては、2005 年に創設され、生命・物質科学分野における若手女性科学者を支援する奨学金「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を推進しています。2013 年度を含め 32 名の若手女性科学者が受賞しています。

ユネスコについて (www.unesco.org)

1945 年に設立されたユネスコ「国際連合教育科学文化機関」(は、本部をパリに置き、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じた、国際平和と人類の福祉を促進することを目的とした国際連合の専門機関です。2011 年 11 月 23 日現在の加盟国数は 195 カ国あり、また世界 53 カ所に地域事務所を置いて活動を展開しています。

日本ユネスコ国内委員会について (www.mext.go.jp/unesco/index.htm)

日本では「ユネスコ活動に関する法律」に基づき、文部科学省に置かれる特別の機関として日本ユネスコ国内委員会が設置されています。日本ユネスコ国内委員会は、教育、科学、文化等の各分野を代表する 60 名以内の委員で構成され、我が国におけるユネスコ活動の基本方針の策定、ユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査等を行っています。日本ユネスコ国内委員会事務局は文部科学省に置かれ、文部科学省国際統括官が日本ユネスコ国内委員会事務総長を務めています。

・報道機関からのお問い合わせ先:

日本ロレアル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部 船津/塚本
TEL: 03-6911-8104

・応募に関するお問い合わせ先:

「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局
EMAIL: fwis-japanfellowships@jp.loreal.com